

[» Email This](#)[» Print This](#)[» Larger Font](#)[» Smaller Font](#)[» Subscribe](#)

日本のスカウトが”友好親善碑”を訪ねる。

Japanese Scouts hail sailors' survival

2006年6月12日月曜。

TOM VOGT コロンビア紙 スタッフ記者

"勇気は尊敬されるべきもの、そして同情は記憶にとどめておくべきもの。"

また、それは12人の人々が日曜日にバンクーバー記念碑にて3人の日本人水夫に対して行なわれました。

一行は、1833年にワシントン海岸に難波して打ちあげられた3人の生存者の勇気に称えました。また、彼らは、自国へ返る機会となったフォートバンクーバー(バンクーバー岩)でのこれらの漂流水夫に思いを馳せました。

日本からの8人のスカウト指導者が、フォートバンクーバー国立史跡公園内にある岩吉、久吉、音吉の記念碑を訪れました。

「若者の武勇伝を伝えることは大切です。」と山田知輝日本ボーイスカウト兵庫連盟理事長は語りました。

「私たちがその勇気を継承し、それを伝えていくべきである。と思います。」今ではこの物語はフォートバンクーバー歴史の一部となっている。」とトレーシー・フォートマン公園長(管理最高責任者)が言いました。

ポートランドのマチコ・オサリバン女史に通訳でフォートマン女史は「私たちがここで話す最も奇聞な話のうちの1つはこの漂流民の物語です。」と訪問者に語りました。「私は人々を共に結びつけるものは、それはひとつの忍耐であり、勇気、実行、共感です。これは、私たちが日本の若者とアメリカの若者のためにも、語り続けておかなければならない物語であると信じます。」

物語を1832年に米と陶磁器を積んで現在の東京へ向けて出帆し行方不明となった日本の船、宝順丸に戻します。音吉の故郷美浜町の人々は14人の乗組員とに冬の嵐の海で遭難したものと思い、寺の近くの彼のための墓石を建立しました。実際は、船は折れた舵とともにあてもなく漂流しておりました。14ヶ月もの漂流に船はワシントンの北西部の先端にあるフラッター岬付近に漂着しました。マカインディアンにみつげられた岩吉、久吉そして音吉はたった14歳でした。このニュースはフォートバンクーバーにあるハドソン湾会社のジョン・マクラフリン最高責任者に届きました。

マクラフリンは彼らを岩に引き取り、そしてそこで彼らは英語を学びました。その後、彼らは英国へ向かう船に乗せられました。英国実業家の通訳や英国海軍士官と活躍し続けて故国に安住することができなかったけれども、音吉だけが日本へ唯一帰国を果たしました。

1989年には、兵庫県からの公式訪問団が、ワシントン州100周年を祝うために贈り物としてバンクーバーへ2トンの記念碑を贈呈しました。記念碑はちょうどビジターセンターの西にあり、(1501エバークリーン通り。)日本人観光客、ビジネスマンや学校グループにはよく知られて場所です。とフォートマン女史が言いました。

今回の訪問で日本のスカウト指導者代表団は宝順丸の模型船というもう一つの贈り物を持ってきております。一行は今週この水夫の船の模型を3人の漂着した水夫保護してくれたアメリカ原住民マカ族の末裔への贈り物としてマカ文化研究センター(マカ博物館)へ贈呈する予定です。

Tom Vogt is a reporter for The Columbian. Contact him at 360-759-8008 or tom.vogt@columbian.com.

Tom Vogtはコロンビア紙の記者です。彼への連絡は360-759-8008または tom.vogt@columbian.com まで。



フォートバンクーバー国立史跡公園再考責任者トレーシーフォートマン女史は、1834年にフォートバンクーバーに来た3人の水夫を称える記念碑前で、日本からのスカウト指導者と贈呈品の交換を行った。

[Subscribe](#) | [Contact Us](#) | [Advertise with Us](#) | [Help/Feedback](#) | [Privacy Policy](#)

©2006 Columbian.com. All Rights Reserved - Use of this site constitutes acceptance of our [User Agreement](#).